

## ■ 高千穂高等学校

開催日：令和5年9月28日（水）15時20分～16時10分

受講者：1・2年生 180名

講師：大館 真晴 教授

### ・応募のきっかけ

⇒高千穂町は神話や神楽もあり、観光や自然環境など恵まれた地であると感じているが、生徒達にとっては日常の一部だという感覚が強く、あまり地域のことを知らないのではないかと感じている。今回の講座を通して、生徒達が地域の良さを再認識し、郷土に愛着を持てるようになればと思い応募した。



・町内にある「天の真名井」、「水」をキーワードとして、昔の高千穂の人の考えを知ることが講座の目的として進められました。

・「天の真名井」に関する伝承についての解説では、高千穂の人々が水を大切にしてきた歴史を読み取ることができることや、高千穂神楽の演目に水を願う演目があること、世界農業遺産でもある棚田や山腹用水路など、その全てに高千穂の人々の水に対する強い思いや、人々が力を合わせて生活を営んできた歴史があるというお話がありました。



・講師からは、先人の水への思いと尽力により、皆さんの日々の暮らしがあることを知ってほしいというメッセージをいただきました。

### ・生徒の感想

⇒・地域の人の思いを引き継ぎ、これからの高千穂を支えていきたいと思った。

・今回の講座が、昔の高千穂を考えるきっかけとなった。先人にならって、これからの高千穂を良くする人材になれたらと思った。